

第2回学校運営協議会（コミュニティスクール）【報告】

日 時：令和7年7月25日（金）15：00～

場 所：薩摩中央高校 会議室

出席者：学校運営協議会委員 7人

- 1 鹿児島純心大学人間教育学部教育心理学科 教授 遠藤 武夫
- 2 さつま町教育委員会 前教育委員 手塚 千草
- 3 さつま町社会福祉協議会 事務局長 山下 光男
- 4 さつま町役場総合政策課 地域振興係長 上原 美由紀
- 5 さつま町役場行革推進室 行革推進係長 久徳 竜也
- 6 薩摩中央高校PTA会長 角井 ひとみ
- 7 紫尾山同窓会 副会長 山下 翔大

薩摩中央高等学校 4人

- 1 校長 中須 康文
- 2 教頭 太田 裕士
- 3 事務長 松山 伊津子
- 4 教務主任 牧瀬 雪絵

県教育庁社会教育課 2人

- 1 主任社会教育主事兼係長 本山智彦
- 2 指導主事 満留 匡樹

株式会社P r i m a P i n g u i n o 2人

- 1 共創部 課長 跡見 愛美
- 2 共創部 プロジェクトマネージャー 照井 将人

さつま町役場 1人

- 1 総合政策課地域振興係 山下 幸志

日 程

- 1 開会のことば
- 2 学校からの説明
 - (1) 経過報告
 - (2) 服務規律について（信頼される学校づくりのための委員会）
- 3 協議
- 4 その他
- 5 閉会のことば

【質疑応答】

(手塚委員)・服務規律について、保護者から性暴力等についての学校の取組への質問はなかったでしょうか？ →ありません

【協議内容のまとめ】

テーマ

「本校が育てたい資質・能力（リーダーに必要な 10 の力）はどのような取組が育成につながるか」

○学校行事において、育てる機会が少ない項目は？どのような機会を設けたらよいか？

- ・傾聴力、理解力が多かった
- ・実行力や発信力が少ない→学校が主体の行事が多いから。

SNS の更新を生徒自身にさせるのはどうか？

発信することへの責任感，創造力の育成，学校の魅力の発見につながるのでは

CS 委員に生徒や卒業生を入れるのはどうか？

Meet-up で小中学生に高校生として語る企画

高齢者，目上の方にリーダーシップを発揮できる企画

(例：高齢者へのネット教室など)

- ・行動規範力のとらえ方が難しい
- ・発見力が多かった
- ・忍耐力が培う行事が少ない→それぞれ授業の中で培われていくのでは
- ・学科ごとの分析があるとよい

(その他)

Meet-up に参加したおとなの声 声が聞き取りづらかった 休憩があるとうれしい
SNS にあげるなら動画があったらよい

その他

【Prima Pinguino 様より「高校魅力化ビジョン」策定のお願いについて】

高校生も策定メンバーに参画させるとよいのでは

県教委より 学校を核とした地域づくりとして，魅力的な取り組みである